

シンポジウム

「傷病野生鳥獣救護の

現状と今後の課題」

開催日時：平成21年9月27日（日）

13:00から（受付開始12:30）

開催場所：アミューたちかわ第1会議室

（東京都立川市錦町3-3-20）

傷病野生鳥獣の救護は、市民のやさしい気持ち“動物愛護”の精神が出发点になっています。それに応えようと臨床獣医師は、診療の合間に野生動物の治療を行っています。しかし、市民の気持ちと行政の対応の間で苦慮することもあります。何が“傷病野生鳥獣救護”なのかを第一線で活躍している方と考えてみたいと思います。



両脚骨折のキジ

【プログラム】

- ①救護の問題点
- ②傷病野生動物救護の流れ
- ③小動物臨床の中での救護活動
- ④リハビリターの養成と活用
- ⑤傷病野生動物の予防対策
- ⑥現状と今後の課題

石橋 徹
野村 亮
中津 賞
皆川康雄
齋藤慶輔
須田沖夫

申込方法：参加費の振込確認をもって参加受付となりますので、人数分の参加費を下記郵便口座にお振込み下さい。振込用紙通信欄に参加者全員のお名前をお書き下さい。

申込期日：平成21年9月15日（火）

参加費：一人1,000円

振込先：00130-8-607137
野生動物救護獣医師協会



リハビリ中のツミ

問い合わせ先

WRV事務局

担当：梶山、吉見

電話：042-599-5052



主催：特定非営利活動法人野生動物救護獣医師協会
（Shinjoプロジェクト助成事業）

後援：(社)神奈川県獣医師会、(社)川崎市獣医師会、(社)横浜市獣医師会